

2012年度 第3回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会・議事録

日時：2012年12月19日 19:00-21:00

場所：日本社会事業大学文京校舎

出席委員(敬称略)：大島、森田、荒井、小野、田嶋、竹之内、山田

事務局：大山

報告：

1. 各部会活動報告

- ・大会担当：山田委員を中心に準備を進めている
- ・ホームページ：大会情報を随時アップしている
- ・ニューズレター：毎年1月中旬頃作成、1月末に郵送。

議題

1. 2012年度関東部会研究大会の開催について

- ・開催地：大正大学、実行委員長：山田委員
- ・大会テーマ：ポスト 3.11 社会福祉学研究と実践の新たな枠組み～ソーシャルワーク実践・研究に求められるもの～
- ・記念講演”生活再建と住宅・福祉～ソーシャルワーク実践・研究への期待”
- ・自由研究報告：若手研究者などの研究奨励との関係について
→発表希望者申し込み締め切り：2013年2月4日
発表要旨締切りは：2013年2月18日
→議題2項の「研究奨励賞について」を参照
- ・広報について
→ホームページに情報を載せている
- ・その他
→前日の設営は大正大学で行う
院生の人数に限られるため、当日朝か前日午後に協力をお願いしたい
- ① 基調講演者・シンポジストへの原稿依頼は山田委員から。
- ② 自由研究報告の各分科会・司会、コーディネーターの日程確保を依頼
- ③ 運営委員には、自由研究報告座長・コメンテータとして、可能な限り多く出席
いただく→田嶋委員が依頼状。昨年度、座長・コメンテータを務めて頂いた会員にも日程を確保して頂くよう働きかける。
- ⑤ 謝金について
→会員のシンポジスト：交通費(実費)のみ
→非会員の基調講演者、シンポジスト：交通費(実費)+2万円
- ⑥ タイムスケジュール
→学会奨励賞は30分 12:30-13:00、基調講演：13:10-14:00
→シンポジストの打ち合わせは奨励賞の時間、大本先生との打ち合わせも行う。
総会時に行うのは厳しい
総会：議長は荒井委員／学会奨励賞記念講演の座長：杉村宏会員に依頼

2. 研究奨励賞について

- ・研究大会奨励賞として賞金は3万円とする。額の多寡より受賞歴を得ることのメリットにより研究を奨励する。今年度、研究報告部門のみに設定する。
- ・奨励賞の趣旨、審査基準(科研のものを参照)をサイトに掲載。田嶋委員担当。
- ・受賞者は当日の運営委員会で決定し、総会で発表する。
- ・当日までに抄録で事前審査し、審査委員が会場で審査する。
- ・サイト上での広報、メルマガで配信する。

3. 社会福祉学評論の発行、編集委員会関連

- ・投稿論文の状況→投稿本数が少ない。運営委員が投稿を促す。
- ・社会福祉学評論 12号(2013)の発行について
→今年度まだ受理した論文はない。
- ・投稿規定の改定について
改訂案が提示されおおむね了承される。運営委員会参加委員が少ないため、改訂案をデータで各運営委員に送り、意見を求める。次期運営委員会で決定する。
- ・紙媒体での出版：福祉系大学図書館へ寄贈する。

4. ニュースレターの発行について

- ・前回運営委員会でメルマガに一本化するという意見が出たが、郵送の方が開封率は高く、紙媒体で発行する意義はある。当面は年1回発行して行く。今年度は例年通り発行する。→毎年1月中旬頃作成、1月末に郵送予定。
- ・巻頭言：大島担当理事 ・被災地支援について：森田委員
- ・研究大会情報（含・研究大会奨励賞） ・ホームページ ・社会福祉学評論

5. ホームページ

- ・9月以降、評論を公開して以降アクセス数がアップしている
MLとサイトが連携するとさらに上がる
- ・正式なプログラムを早めに載せる
報告者が決まらなないと載せられない部分はあるため決まったことから順に掲載。
- ・最終講義の日程公開
各運営委員が関連する大学の最終講義日程をホームページ担当に送る。
- ・博論公開審査の日程
各運営委員が所属大学の日程をホームページ担当に送る。

6. その他

次回：2013年3月9日(研究大会時)